

# A TEENAGER FOR ALL MANKIND

TIME's Kid of the Year

## ヘイマン・ベケレ

### 14歳の少年が「皮膚がん治療用石けん」を開発

TIME誌が選ぶ「Kid of the Year 2024」に、15歳の少年ヘイマン・ベケレさんが選ばれた。ヘイマンさんは当時わずか14歳という若さで、皮膚がんを治療できる石けんを開発。現在は高校生ながら、ジョンズ・ホプキンス大学でマウスを使って実験中だという。近年、皮膚がんの罹患率は世界中で上昇傾向にある一方、その高額な治療費は患者にとって大きな障壁となっている。皮膚がん治療用石けんの開発に着手したきっかけや将来の目標などについて、ヘイマンさんに話を聞いた。



インタビューー

リンダ・キンケイド

CNN アトランタ支局のアンカー。CNN Newsroomの番組アンカーとして同氏が行った2015年のパリ同時多発テロ事件の報道は、2016年の英国王立テレビ協会プロシテラム賞のCNN受賞に貢献。シドニー工科大学でジャーナリズムを専攻して学位を取得後、豪州の民間テレビ局ナイン・ネットワークで4年間勤務。その後、セブン・ネットワークに入社。2014年、CNNに入局。

ゲスト

ヘイマン・ベケレ

2009年生まれ。アフリカ東部にあるエチオピア出身で、4歳のときに渡米し、現在はバージニア州の高校に通う。幼少期に太陽の下で働く人々を目にし、日焼けを原因とする皮膚がんを治療する石けんを発明。2023年、アメリカ最大手の化学・電気素材メーカー3Mが主催する「3Mヤング・サイエントリスト・チャレンジ」で優勝。TIME誌が選ぶ2024年の「Kid of the Year」に選出。



Listening Quiz

## 59 14歳の少年が発明「皮膚がん治療用石けん」

**Lynda Kinkade** Well, skin cancer remains a global public-health threat, and despite more people slathering on sunscreen than ever before, skin-cancer rates continue to rise. Now, one precocious teenager is joining the fight. Heman Bekele is a 15-year-old already getting recognition for inventing a soap that could treat cancer, and he's just been honored by *Time* magazine, which named him the 2024 Kid of the Year. Well, I'm joined now by Heman Bekele.

Good to have you with us. Congratulations. You are the 2024 *Time* magazine Kid of the Year. How do you feel about that honor?

**Heman Bekele** It is an absolutely surreal feeling. First of all, of course, thank you so much for having me. Yeah, it feels so great. I mean, of course, I feel really happy and gratified for this experience. But then, in addition to that, I also feel really inspired and motivated, because, you know, I'm just 15 years old, and this experience does show that as young as you are, your ideas can still be heard.\* And so, it is really motivating and will keep motivating me pushing forward as well.

**skin cancer:**

皮膚がん

**remain:**

依然として～である、今なお～のままである

**public-health threat:**

公衆衛生上の脅威

**slather on:**

～をたっぷり塗る、厚塗りする

**precocious:**

早熟な、知的発達の早い

**get recognition for doing:**

～したことで注目される、認められる

**honor:**

①～に榮譽を授ける、～を高く評価する ②名譽、榮譽

**name A B:**

AをBに選出する、指名する

**surreal:**

現実とは思えない

**gratified:**

喜んでいる、満足している

**in addition to that:**

それだけでなく、それに加えて

**inspire:**

～に刺激を与える

**motivate:**

～をやる気にさせる

**pushing forward:**

▶ここでは going forward (今後は、これから) という意味で用いていると思われる。

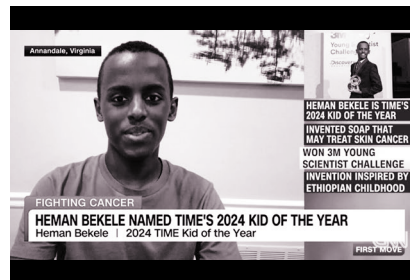
**リンダ・キンケイド** さて、皮膚がんは依然として世界的な公衆衛生上の脅威です。しかも、日焼け止めをたっぷり塗る人がかつてないほど増えているにもかかわらず、皮膚がんの罹患率は上昇し続けています。今、1人の早熟なティーンエイジャーがこの闘いに加わりました。ヘイマン・ベケレさんは、がん治療の可能性を広げる石けんを考案したことですでに注目されつつある15歳で、つい先ごろ、タイム誌の「2024年キッド・オブ・ザ・イヤー」に選出されるという栄誉に輝きました。ここからはヘイマン・ベケレさんをお迎えしてお届けします。

ご出演ありがとうございます。おめでとうございます。タイム誌の2024年キッド・オブ・ザ・イヤーはあなたになりましたね。この栄誉をどう感じていますか。

**ヘイマン・ベケレ** まったく現実じゃないみたいな感じです。その前に、出演させていただきありがとうございます。そうですね、最高の気分です。というか、もちろん、こんな経験ができて本当に嬉しいし、満足しています。でも、それだけじゃなくて、やはりとても刺激を受けるし、やる気をもらえます。だってほら、僕はまだ15歳ですが、僕のように若くても、それでも自分のアイデアに耳を傾けてもらえるんだということが、この経験でわかりましたから。だから、本当に励みになりますし、このおかげで今後もモチベーションを保ち続けるでしょう。



ヘイマンさんはKid of the Year 2024としてTIME誌の表紙を飾った



2023年には小学校高学年～中学生を対象にした科学コンテスト「3M ヤング・サイエンティスト・チャレンジ」で優勝するなど、目覚ましい活躍ぶりだ

☞ as young as you are, your ideas can still be heard. (僕のように若くても、それでも自分のアイデアに耳を傾けてもらえるんだ)  
このyouとyourは、ヘイマンさんを指しているのではなく、「人は誰でも」という意味で一般的な人を表す用法。